



花のある生活

トミーの寄せ植えプロデュース
文・写真：富山 昌克

寄せ植えをこれから始めてみたい！という初心者を対象に、簡単にできる寄せ植えを紹介するコーナーです。
※不定期で連載しています。

第4回 お正月の寄せ植え

今回のポイントは「いかに明るめのピンク系のハボタンを探すか」です。ピンクのマンリョウもあり、洋風のお家でもおしゃれに溶け合います。

また、ハボタンの花茎をカットしておく、夏には花茎の途中から脇芽が伸び、その先から小さなハボタンができてきます。空中にハボタンができるので、「踊りハボタン」と呼ばれる仕立てになります。

鑑賞期間

1月～3月

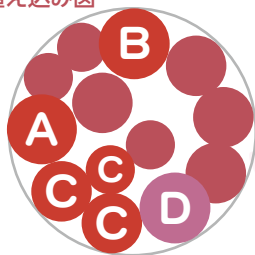
水やり

土の表面が乾いたら鉢底から水が流れ出るまでたっぷりと。

置き場所

日向、日陰の戸外（玄関先、ベランダ）。室内は不向き。

植え込み図



コンテナ：深さがなく横に広いローボール
サイズ：内径24cm
A～Dの間に安価な小さめのハボタンを植え込む



ハボタン「プラチナケール」
葉にブルームと呼ばれる白粉がないので光沢がある。プラチナ級の輝きを放つ照葉系品種。



フェザーホワイト
繊細さとボリューム感を兼ね備えたフォルムの切葉系品種。レースハボタン。



ちりめん系ハボタン
名古屋地方でちりめん系ケールを交配して改良された品種。



マンリョウ
常緑のピンクの斑入り葉と果実を觀賞する縁起植物。江戸時代から園芸化が進んだ古典園芸植物。

手順

ハボタンは冬の間、成長しないので、窮屈に寄せ植えしても問題ありません。



- ①花苗を360°回転させ、葉の表面が一番見える向きを意識する。
- ②鉢底石・園芸培養土を入れたコンテナに花苗を置きバランスを見る。
- ③花苗の間に園芸培養土を隙間なく詰め込む。

※花台に設置すると高さが出て豪華に見える。

お手入れのコツ

ハボタンは3月には菜の花のような黄色の花を咲かせます。その頃にアブラムシ対策として、市販の顆粒状の浸透移行性殺虫剤を鉢土の表面に軽く散布します。水やりすると、溶解した殺虫剤をハボタンが吸収し、葉をかじりに来たアブラムシが逃げていきます。今回のコンテナは、ハボタンがアブラムシだらけになって廃棄せざるを得ない状況になっても、マンリョウのコンテナになり、育っていきます。